

雲の上のまち



た報

けすばら



梶原こども園運動会 そろ組の綱引き (梶原高校グラウンドにて)

第60回 金婚夫婦祝福式典 <P2~4>

交通事故防止ハーレーパレード <P4>

平成29年度高陵消防連合演習 <P6>

梶原町の健全化判断比率・資金不足比率 <P7>

インフルエンザ予防接種ワクチン不足について <P8>

etc...

10 **2017**
〈平成29年〉
No.712
月号

●世帯数/1,826 (8月末)
1,820 (9月末)
●人口/3,636 (8月末)
3,628 (9月末)
○出生… 2 ○死亡… 5
○転入… 2 ○転出等… 7



金婚夫婦祝福式典に出席されたご夫婦

金婚式

9月1日(金)、高知新聞社・RKC高知放送・高知新聞社会福祉事業団の主催による「第60回金婚夫婦祝福式典」が県内6会場で開催され、高幡地区においては須崎プリンスホテルにて盛大に開催されました。

ご結婚された50年前の昭和42年は、初の「建国記念日」の施行、ラジオ番組「オールナイトニッポン」の放送開始、ミニスカートブームが到来した年でもあります。

本町では13組のご夫婦が金婚を迎えられ、うち8組の方々が式典に参加されました。

式典の前に設けた昼食の席では、矢野町長を囲んで昼食をとり、夫婦円満の秘訣など楽しくお話をされました。

式典では、主催者のほか、県、高幡地区の市町長が出席されており、矢野町長からお祝いの言葉の後、梶原町からの記念品を二宮近雄・美恵子ご夫婦が代表で授与されました。

お二人で共に支え合い歩んでこられた半世紀もの長い人生を振り返りながら、晴れ晴れとした笑顔で、祝福を受けられました。

長寿者訪問

9月4日(月)と5日(火)6日(水)に、敬老の日に先立ち、95歳以上の在宅で生活されている24名の長寿者を矢野町長が訪問し、記念品を贈り長寿のお祝いをさせていただきました。

皆さんはとても元気に過ごされておられ、苦あり楽ありの豊富な思い出話を、年齢を感じさせない軽快な語り口でお話いただきました。

皆さんの元気の秘訣をお聞きしたところ、三食しっかり食べる、体を適度に動かす、規則正しい生活をするといった基本的なことに加え、自分の好きなことをする、いろんな人と話をするなどと教えていただきました。



長寿者訪問の様子 (後別当 西村清美さん)



9月10日(日)、秋らしい穏やかな青空のもと、各区主催による「敬老の日」を祝う行事が町内6会場において開催されました。

各会場とも地区を挙げての式典が行われ、お祝いの言葉や祝状・記念品の贈呈が行われました。

榊原学園・榊原こども園の子どもたちも各地区で参加し、元氣いっぱい歌や踊りの発表に、皆さんは顔をほころばせ、とても楽しまれていました。

また、式典後の出し物では、ど



敬老会の様子(越知面区)



この区も地域の方々に参加されたり、ゲストをお呼びしたりといった趣向を凝らした様々な楽しい催しがあり、参加された方々が皆笑顔で楽しい1日を過ごされました。

今年度、めでたく百歳を迎えられる2名の方に、安倍内閣総理大臣より、祝状と記念品の銀杯が贈られました。

百歳

年齢順(敬称略)

- 後別当 西村 清美
- 上本村 川上 安恵

ダイヤモンド婚

(結婚60年) 7組(敬称略)

- 上本村 竹倉 多加夫・愛喜
- 川西路 上田 孝吉・トキ子
- 川西路 大野 照一・糸美
- 神在居 新谷 忠夫・小壽恵
- 仲洞 溝添 定盛・富喜恵
- 下西の川 森山 春幸・暉美子
- 上成 森山 恒喜・清榮

金婚夫婦

(結婚50年) 13組(敬称略)

- 田野々 川上 幸男・末美
- 六丁 山中 照亞・究
- 東町 掛橋 芳男・初子
- 東町 二宮 近雄・美穂
- 南町 戸梶 隆光・圧美
- 西町 影浦 賢・和子
- 西町 崎村 東洋・美恵
- 飯母 内田 昭彦・松子
- 飯母 松山 博史・頌子
- 神在居 下元 久夫・正子
- 上西の川 中越 勇・善美
- 上成 森山 定幸・智子
- 大向 久岡 忠士・智子

長寿者

(平成29年9月1日現在95歳以上) 53名(敬称略)

- 上本村 岡本 好野 一〇六
- 坪野田 中越 小柳 一〇五
- 永野 山下 元恵 一〇二
- 初瀬本村 河野 茂美 一〇二
- 久保谷 久岡 春美 一〇二
- 松谷 中岡 磯吉 一〇一
- 上本村 川上 安恵 一〇〇
- 後別当 西村 清美 一〇〇
- 田野々 岡村シゲミ 九九

- 茶や谷 中岡 康乃 九九
- 茶や谷 柴田 留夫 九九
- 六丁 中村 藤子 九九
- 西町 下元登喜子 九九
- 上折渡 矢野 春美 九九
- 永野 井口 楠美 九九
- 井高 正岡 憲雄 九九
- 坂本川 廣瀬 綾子 九九
- 川西路 市川喜代子 九九
- 太郎川 前田 貞子 九九
- 仲間 西村 公子 九九
- 松原 明神 初子 九八
- 後別当 中越 葉 九七
- 後別当 中越 政恵 九七
- 川西路 西村 正良 九七
- 仲洞 溝添 竹子 九七
- 田野々 沖田八代恵 九六



出し物で祝福する子どもたち(東区)

(年齢は平成30年3月末日における満年齢)
 ※お名前には常用漢字を使用しています。

大蔵谷	中川	留	九六	東町	泉	義則	九六	川西路	細川	勇恵	九六	竹の藪	吉田	きよ	九六	広野	竹田	八重子	九六	広野	明神	春美	九六	宮野々	古井	操	九六	横貝	川上	福恵	九五	太田戸	岡本	文代	九五	下本村	戸田	静子	九五	富永	長谷部	絹子	九五	本も谷	長山	絹恵	九五	神の山	宮本	綾子	九五	坂本川	永橋	春見	九五	六丁	奥谷	春子	九五	中町	川村	晴喜	九五	川西路	大崎	孫太郎	九五	飯母	西村	照子	九五	太郎川	西森	千代子	九五	仲洞	松山	幸子	九五	竹の藪	戸田	市雄	九五	広野	上田	一興	九五	松谷	市川	善八	九五	初瀬本村	大下	喜一	九五	仲久保	下村	富士子	九五	中平	久岡	三幸	九五	久保谷	久岡	勝男	九五
-----	----	---	----	----	---	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	---	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	-----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------	----	----	----	-----	----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----

東区豊原でもしもの時の備えを学びました

9月3日(日)、高知県南海べましました。

地震対策週間にあわせて、豊原集落で応急手当訓練と防災食講座を実施しました。

応急手当訓練では、津野山分署の職員の方から、自分たちで災害発生時に応急手当が出来るように、止血の方法や骨折しているときの固定方法、傷病者の搬送方法等について学びました。

防災食講座では、昨年度に引き続き県立牧野植物園解説員 稲垣先生にお越しいただき、今回は夏の野草を採取し、調理方法を教えていただき、実際に食



棒と衣服で担架の作り方を教えてもらっている様子

べましました。

稲垣先生からは「四季折々で植物も新芽から花や実がなり、表情が変化します。今回のように季節を変えて野草を知ってもらいたい、もしもの時に備えてもらいたい。」というお話をいただきました。

地震などの自然災害の発生を防ぐことはできませんが、普段から地域で備えることで被害を減らすことができます。防災について何か取り組みを考えてみたい地域の方は、危機管理係までご相談ください。



夏の野草を採取

交通事故防止

ハーレーパレード実施

9月23日(土)、秋の全国交通安全週間にあわせて、ハーレー愛好家による交通安全パレードが行われました。梶原をはじめ、中土佐町や愛媛県西予市からハーレー15台が太郎川公園に集合し、須崎警察署で出発式を行った後、参加者は「交通安全」と書いたたすきを着用し梶原と中土佐までの間、安全運転で交通事故防止を呼び掛けました。



ハーレーパレードの様子

中町 西村美子さん 高知県オールドパワー 文化展にて「褒状」受賞

中町の西村美子さんが第48回高知県オールドパワー文化展の工芸の部へ「まり」を出展され、「褒状」を文化展会長尾崎正直氏より授与されました。あわせて、「高知県美術振興会奨励賞」を、高知県美術振興会理事長橋井昭六氏より授与されました。

このオールドパワー文化展は「高齢者の手で作品を展覧することを通じ、高齢者の生きがい高める余暇活動の高揚を図ること」「県民の高齢者福祉に関する理解と関心を深めるとともに、高知県文化の向上に寄与すること」を目的とした文化展です。美子さんは奥四万十博の際に毬をたくさん作っているうちに「大きな毬に挑戦してみよう」と思い、今回の製作に至ったそうです。

日ごろより、昔からの伝統的な毬を後世に残していきたいという思いから、高校生や学園の児童生徒さんへ、毬やくす玉の作り方などのご指導をいただいております。



受賞された「まり」とても大きく美しいです

す。子どもたちからも元気をもらっており、生きがいになっているとおっしゃってくれました。これからもお元気で、ご活躍いただきたいと思えます。

高知県内 一斉避難訓練を 実施します

11月5日(日)、高知県内一斉避難訓練を実施します。地域で実施する訓練へ参加をお願いします。いざというときのために、みんなで防災対策を進めましょう。



昨年の避難訓練の様子

手作り 太陽光発電事業 (梶原学園)

8月28日(月)～29日(火)に環境モデル都市「人・仕組みづくり」プロジェクトの一環として梶原学園で手作り太陽光発電機の製作が行われました。

生徒たちは太陽光発電機の仕組みについて学びながら、真剣に取り組んでいました。完成した太陽光パネルは川西路の和田城集会所横に設置しています。

参加者(敬称略)

- 中岡 拓斗 戸田 心音
- 勝賀野 悠斗 中越 椋
- 戸梶 拓海 山下 碧海



完成した太陽光パネル

平成29年度 高陵消防連合演習 開催

8月26日(土)午前9時から、大越グラウンドで、高陵消防連合演習(須崎市、中土佐町、津野町、梶原町)が、団員ら約350名の参加により行われました。

会長訓示(中土佐消防団長・嶋岡敏雄)の後、高陵消防連合会優良団員表彰(功労章)が須崎消防団員7名、中土佐消防団員6名、津野消防団員5名、梶原消防団員10名の合計28名に贈られました。

続いて楠瀬高幡消防組合長(須崎市長)、山本有二衆議院議員、土釜梶原町議会議長、夕部高知県危機管理部消防政策課長、中内須崎警察署長から祝辞の後、梶原消防団第3分団の森山貴史団員が選手宣誓を行い、日ごろの訓練の成果を発揮し全力で競技に臨むことを誓いました。

梶原消防団から総勢130名が参加し、教練の部に第5分団、小型ポンプ操法の部に第3分団、ポンプ車操法の部に第1分団が出場しました。

教練の部は、指揮者の号令に従い、団員22名が整列や行進を行い、

動作の機敏さや統一性を競いました。梶原消防団と中土佐消防団の接戦の末同点優勝となりました。

小型ポンプ操法、ポンプ車操法は、各団共に正確さとスピードを兼ね備えた動きでホースを延ばし、標的に放水し、日ごろの練習で磨き上げた技を披露し、ハイレベルな戦いが繰り広げられました。

また梶原学園少年消防クラブによる軽可搬ポンプ操法の演技披露が行われ、日ごろの練習の成果を発揮し、将来の地域防災の担い手に集まった見学者からは大きな歓声があがりました。

教練の部

- 優勝 梶原(第5分団)
- 優 勝 中土佐
- 第3位 須崎

小型ポンプ操法の部

(優勝・準優勝団は県操法大会出場)

- 優勝 梶原(第3分団)
- 準優勝 津野
- 第3位 須崎

小型ポンプ操法要員

- 指揮者 団員 森山 貴史
- 1番員 班長 森田 晃次
- 2番員 団員 二神 貴登
- 3番員 団員 土釜 慎太郎
- 補助員 団員 氏原 貴広

ポンプ車操法の部

(優勝団は県操法大会出場)

- 優勝 津野
- 準優勝 中土佐
- 第3位 梶原(第1分団)

高陵消防連合会長表彰 功労章

(勤続五年以上)

- 本部 団員 中越 泰三
- 本部 団員 中越 裕也
- 第1分団 団員 山本 和正
- 第1分団 団員 中越 晃典
- 第1分団 団員 松山 祐弥
- 第1分団 団員 中越 峰彦
- 第2分団 団員 高橋 宗
- 第3分団 団員 西村孝一郎
- 第4分団 団員 松岡 護
- 第5分団 団員 隅田 雄策



第3分団小型ポンプ操法



第5分団教練

平成28年度 梶原町の健全化判断比率 資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、4つの財政指標を「健全化判断比率」として定めています。

地方公共団体は、毎年度、前年度の決算に基づく健全化判断比率をその算定資料とともに監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表することとされています。

また、病院事業会計や簡易水道事業会計などの公営企業会計の経営状況についても毎年度、公営企業会計ごとに資金不足比率を監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表することとされています。

これら「健全化判断比率」のうち1つでも早期健全化基準以上となった場合は「財政健全化計画」を、また、「資金不足比率」が経営健全化基準以上となった場合は「経営健全化計画」を、いずれも議会の議決を経て定める必要があります。

本町の平成28年度決算数値では下記のとおり各指標とも基準数値を超えるものはありませんでした。【図Ⅰ】

また、「資金不足比率」についても、それぞれの公営企業会計に資金不足額がないため、数値は現れていません。【図Ⅱ】 本町はいずれの指標からみても健全な財政運営が行われていると判断することができま

本町の平成29年度予算は、国の動向を踏まえ、課題解決に向けた予算となっておりますが、自主財源に乏しく地方交付税や国・県支出金、地方債等依存型の財政構造に変わりありません。

しかしながら、梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略も3年目に入り、着実に成果を上げていかなければなりません。「住民の不安の解消」や「福祉施設の充実」「産業の振興」「移住・定住対策」「人づくり」を重点に6つの社会づくりを推進するために、今後も適切な財政運営に取り組んでまいります。

【図Ⅰ】 健全化判断比率

	梶原町	早期健全化基準	財政再生基準	内容
実質赤字比率	-	15.00%	20.00%	地方公共団体の普通会計の赤字の程度を指標化したもの
連結実質赤字比率	-	20.00%	30.00%	公営企業会計等を含む全ての会計の黒字、赤字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したもの
実質公債費比率	5.1%	25.0%	35.0%	地方債の借入金に係る返済金及びこれに準じるもの（借入金に係る返済金の財源に充てたと認められる特別会計等への繰出金等）の額の大きさを指標化したもの
将来負担比率	-	350.0%		地方公共団体が将来負担すべき地方債残額や債務負担行為による支出予定額をはじめ、公営企業会計などへの実質的な負債額等、将来、財政を圧迫する可能性があるものの大きさを指標化したもの

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字額がないため『-』と表示しています。
 ※ 将来負担比率は、将来負担額に対し充当可能財源（基金等）が上回るため『-』と表示しています。

【図Ⅱ】 公営企業の資金不足比率

	梶原町	経営健全化基準	内容
資金不足比率	-	20.00%	公営企業会計の資金不足額を事業規模（料金収入など主たる営業活動から生じる収益等）と比較して指標化したもので、経営の状況を判断するもの

※ 各公営企業会計とも資金不足額がないため『-』と表示しています。

！ 今年度のインフルエンザ予防接種 ワクチン不足について

平成29年度、全国的なインフルエンザワクチンの不足により、従来行っております「インフルエンザ予防接種」が、出来なくなりました。今年度につきましては、下記のとおり優先順位により「インフルエンザ予防接種」を実施することになりましたので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、ワクチンの残数に余裕ができましたら、12月初旬に放送等でお知らせします。その場合は予約制とさせていただきます。

【目的】 ワクチン接種は、感染を100%防ぐものではありませんが、重症化や死亡を予防するのに有効であり、基礎疾患を有する方など重症化しやすい方について接種を勧奨しています。

【接種回数】 **原則 1回接種**

(1歳～6歳未満で過去に接種をしていない子どもさんについては2回接種になります。)

梶原町での集団接種優先順位

- ①医療従事者
 - ②施設入所者及び介護職員
 - ③1歳～高校生まで
65歳以上の高齢者
 - ④その他医師から指示のある方
- ※19歳以上～64歳の方については、原則今年度は接種できません。接種希望の方は**町外の医療機関**にお問い合わせください。

接種費用

～町内に住所を有する方～

- 町内の集団接種で接種する場合**
すべての方が200円負担で接種できます。
- 町外(高知県内)の医療機関で接種する場合**
65歳以上の方が町外の広域による委託医療機関で接種する場合、1,100円負担になります。(県外では、該当しません)
それ以外の方は、自費での接種となります。
※費用等は各医療機関にお問い合わせください。

※予診票は病院受付、保健福祉支援センターに用意しております。

日頃から感染予防対策が重要です

- うがい手洗い
- 人ごみを避ける
- 休養とバランスの良い食事
- マスクの着用



※詳しくは**部落回覧**をご覧ください。

梶原町での集団接種予定日

【梶原病院】

- 子ども優先日(1歳～高校生)**
11月9日(木) 14:30～16:30
- 高齢者優先日(65歳以上)**
11月16日(木) 13:30～16:30
11月30日(木) 13:30～16:30

【四万川診療所】

11月21日(火) 9:00～11:30

【松原診療所】

11月27日(月) 9:00～11:30

※四万川診療所・松原診療所につきましては、1日のみの接種ですのでご注意ください。

※65歳以上の方は年齢を確認できるもの(保険証や運転免許証など)の提示をお願いします。

〈お問合せ〉

梶原町保健福祉支援センター 健康増進係
☎0889-65-1170 (IP **65-1170)

出身地／神奈川県
職名／ゆすはら応援隊
趣味／旅・現代美術・古美術
今後の夢や抱負／梶原町の炭焼き文化を継承し、中山間地域での自立した持続可能な生き方を実践していきたいです。



戸来 圭太

ゆすはら応援隊
職員紹介

平成29年9月1日より、ゆすはら応援隊として採用されました。
自己PRを兼ねて、いくつかの質問に答えていただきました。

梶原こども園だより

お茶会

9月5日(火)に今年度初めてのお茶席がありました。地域のお茶道クラブの皆さんが来てくださり、作法から丁寧にご教授いただきました。ぱんだ組(3歳児)の子どもたちにとっては初めてのお茶席でしたが、おまじゅうと抹茶を「おいしい」「ちよつとにがい」などと言いつつ、きりん組(4歳児)・ぞう組(5歳児)にとつては去年経験したことを思い出しながら、また一つ一つ丁寧に作法を教え



お茶席



抹茶おいしいよ



祖父母VSぞう組「玉入れ」



ひよこ組 親子競技



うさぎ組 親子競技



閉会式の様子

てもらいながら行いました。座り方やお辞儀の仕方、畳の上での歩き方など、様々な作法を学びながらおまじゅうと抹茶をおいしくいただきました。ぞう組はお家の方へのお茶席でもおまじゅうがあるので、それに向けて取り組んでいきます。なかなか体験できないことをこうして経験できるのは地域の方々のおかげです。ありがたいことですね。

わくわく運動会

9月30日(土)は、第7回梶原こども園わくわく運動会が行われました。今年も、毎年使っている園舎のグラウンドが使えず、梶原高校のグラウンドで行いました。

乳児組(1歳〜2歳)は開会式前にはお家の人と離れたくなくて涙を流す子もいましたが、大好きな踊りを踊ったりするのとで少しずつ踊りも楽しんで踊っていました。かけっこでは、お家の人のところまで《よいい、どん》すると嬉しそうにお家の

人のところまでかけつけていました。幼児組(3〜5歳)は、各クラスで練習してきたほつきりや一本下駄、竹馬を披露しました。家に持って帰って練習した成果も発揮できたと思います。どのクラスも大きな声で応援したり、競技したりと最後まで頑張れたのも梶原高校の生徒や地域の皆様、保護者の皆様のおかげです。また、地域の方や来賓の方には、競技にも参加していただき、楽しい運動会になりました。本当にありがとうございました。

梶原学園 だより VOL 64

梶原学園運動会

9月18日(月)平成29年度梶原学園の運動会を開催しました。

当初は、9月16日(土)を予定していましたが、台風接近のため、やむえず9月18日(月)に行いました。一昨年度より高幡消防組合津野山分署の方々の協力を得て、事前に行進などの練習を行っていません。今年度も昨年度同様素晴らしい開・閉会式ができました。



力強い選手宣誓

1年生～9年生の子どもたちは、『汗と涙で絆ぐ友情』のテーマのもと、練習に一生懸命取り組み、当日も持てる力を精一杯発揮していました。28種目に及ぶ激闘の末、見事優勝したのは赤組でした。赤組の優勝は、昨年度に引き続きの連覇でした。そして、何よりも子どもたちの成長や熱い思いを強く感じた今年の運動会でした。



小中合同応援合戦

毎年素晴らしい運動会をつくりあげてくれる子どもたちですが、今年も例年にまして子どもたちの成長と熱い思いとそれぞれのチームの団結を感じた運動会でした。

この運動会をきっかけに、学校生活の中でもまた一段と成長していくことを願っています。子どもたちもみなそれぞれに達成感、喜び、次へ



白熱した綱引き

のやる気を得ることができました。今後も梶原学園、がんばりますのでよろしく願います。

準備から後片付けと協力していただいた地域の方々・保護者の方々、本当にありがとうございました。

Yahoo! Hack kids Camp in 梶原

8月24日(木)25日(金)の2日間にわたって Hack Kids Camp in 梶原を開催しました。参加したのは、梶原学園6年生14名。Hack Kidsとは、Yahoo!主催のプログラミング体験イベントのことです。Yahoo!からも6名の講師の先生も

来てくださり、子どもたちに熱心に分かりやすくプログラミングのことを教えてくれました。プログラミングは、新学習指導要領にも明記され、小学校から学ぶようになっていきます。プログラミングの学習は論理的思考力を身に付けるのに役立ちます。パソコンでいろいろなパーツを複雑に組み合わせることにより、遊び心のある実験やインタラクティブアニメーション、ゲームなどを熱中して作製していました。最終日には、一人ひとりが作製した作品をみんなに発表しました。

【参加した児童の感想】

「プログラミングはふだん使わない頭の部分を使うので、学校の勉強よりもむずかしかったけど、楽しかったです。」



プログラミング体験中



<https://scratch.mit.edu/studios/4250264/>
(子ども達の作品が見られます。)

将来は、イラストレーターになりたいです。イラストレーターは機械を使うこともあると思うし、プログラミングを経験することで将来にも生かせそうです。」

(上川 咲)

「Scratch はいろいろなパーツがあつて、どれを使えばいいのか最初分からなかったけど、チューターの人たちに教わっていろんなことがわかるようになりました。」

最近全然パソコンをさわっていなかっただけど、使い方を思い出すこともできてよかったです。」

(山下 実桜)

誤嚥による窒息死亡 事故の和解について

平成29年梶原町議会9月定例会で行政報告を行うとともに損害賠償の額の決定について議決されましたので、梶原病院で発生しました入院患者の誤嚥による窒息死亡事故についてご報告させていただきます。

事故は平成28年6月11日(土)に病院食堂で発生しました。被害者は入院していました80歳代の男性患者で、昼食を誤嚥して窒息し、死亡されたものです。

男性患者は平成28年6月7日、夕食を誤嚥されたことで緊急入院となり、酸素投与と持続点滴の加療により、全介助で食事を再開するまでに回復していましたが、6月11日(土)午後0時10分ごろ、テーブルに置かれた食事を自力で引き寄せ、自ら食事を摂取した際に、再び誤嚥され窒息し、早期に発見することができず死亡されました。

このことについて、食事はテーブルの男性患者から少し離れた場所に配膳し、他の患者の配膳を終えてから食事介助を行う予定でしたが、配膳を行った者がナースコールの呼び出しに対応したことにより、食堂に職員が居ない状況になっ

ていました。

当院としては、食事介助を必要とする患者に対し、手の届く範囲に食事を配膳車からテーブルに移動させていたこと、また、患者だけになる時間があつたことが今回の事故の原因であると病院側の注意不足・管理不足を認め、再発防止に向け看護体制、人員配置の見直しを行うとともに、6月14日には被害者の家族に事故発生の経過や原因、再発防止に向けた是正策について説明を行いました。

その後、死亡された男性の相続人から診療録等の開示請求があり、平成28年10月19日には相続人の代理人から損害賠償を求める催告書が送付されたことから、当院が加入しています医師賠償責任保険の保険会社及び梶原町の顧問弁護士に相談し、保険会社から紹介された弁護士を当院の代理人として委任を行い、平成29年7月31日までの約9カ月にわたり弁護士を介して協議を重ねてまいりました。

そうした中で、今回の和解成立となったもので、相続人の代理人に対し損害賠償の額2544万7676円が保険会社から支払われることとなりました。

このことは、医師が損害賠償責任を負った場合に、医師の過度な負担を軽減するための医師賠償責

任保険に当院が加入し、その掛け金38万1360円を毎年支払っていることから、全額を保険会社が支払い、病院事業会計からの損害賠償の支払いは発生していません。

今回の事故については、食事介助のあり方、特に休日の対応について徹底できていなかった病院組織としての問題であり、組織の管理者である院長及び病棟看護師長に対し厳重なる注意処分を行うと同時に、是正措置が効果的に機能し、再発防止に全力を期すとともに、管理監督者として、気を引き締め勤務にあたるよう命じました。

事故を教訓に、食事介助を必要とする患者には、食事介助ができる状態になるまで食事の配膳を行わないことの徹底、休日であっても患者の食事状況全体を見守れる職員を食堂に配置するとといった事故再発防止策を遵守し、二度とこのような事故を起さないよう、また、信用回復に向けて職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともご指導をお願いしましてご報告とさせていただきます。

梶原町立国民健康保険梶原病院
開設者 梶原町長 矢野 富夫
院長 池田 幹彦

公務災害 認定の報告

梶原町職員の平成26年12月15日に発生した死亡事故について公務災害認定を受けましたので、内容を報告いたします。

平成27年7月8日、遺族代理人弁護士より、地方公務員災害補償基金高知県支部長へ、公務災害認定請求が出され、同日付けで、同高知県支部長より、梶原町に対し公務災害認定請求手続きの回答依頼があり、平成29年5月2日までの間、8回にわたり回答を行ってまいりました。

これまでの経過を踏まえて、平成29年7月18日付け同高知県支部長より、地方公務員災害補償法の規定に基づき、審査の結果、公務上の災害と認定を受けました。

今回の認定の考え方について

地方公務員災害補償制度において、災害（負傷、疾病、傷害及び死亡）が公務上の災害と認められるためには、職員が公務に従事し、任命権者の支配下にある状況で災害が発生した（公務遂行性）を前提として、公務と災害との間に相当因果関係があること（公務起因性）が要件とされています。実際の認定は、地方公務員災害補償法施行規則及び公務上の災害の認定基準に基づいて行われます。

地方公務員災害補償基金本部専門医による医学的知見は、請求者からの申立、職場関係者の証言等から判断して、公務上の過重な負荷により精神疾患（国際疾病分類でいう「F32うつ病エピソード」）を発症していたものと認められました。

精神疾患等認定基準に則り、業務による精神的又は肉体的負荷の状況、強度の精神的又は肉体的負荷を与える事象として「発症直前の1ヵ月以上の長期にわたって、質的に過重な業務を行ったこと等により、1ヵ月当たり概ね百時間以上の時間外勤務を行ったと認められる場合」に該当することとなり、その基準であることをもって精神疾患等認定基準の要件を満たすものであり、公務と相当因果関係をもって発症したことが明らかな疾病と認められ、公務上の災害であると認定されました。

認定要件について

梶原町として、公務災害認定を重く受け止めています。

民事訴訟について

平成28年4月27日、損害賠償等請求事件、原告ら訴訟代理人弁護士より安全配慮義務違反として民事訴訟

を提訴。

現在公判中であり、今後についても被告訴訟弁護士と協議を重ねてまいります。

町民の皆様には、不安とご迷惑をお掛けしましたことに対しまして、心よりお詫び申し上げます。ご報告いたします。

梶原町長 矢野 富夫
教育長 久保 栄八

無料法律相談 実施のお礼

8月12日（日）、ゆすはら未
来大使であり、東京で活躍さ
れている土釜弁護士をはじめ
5人の弁護士が、町民の皆さ
んが抱えている、「どこで誰に
相談すればいいかわからない
日頃からの様々な心配事や困
りごとなど」の問題について、
専門的な見地から相談を受け
親切丁寧に対応をしてくださ
いました。

土釜弁護士をはじめ5人の
弁護士の皆様、ご多用のなか
来町し、法律相談を実施いた
だきありがとうございました。

11月の行事予定

5日（日） 県内一斉避難訓練

9日（木） 秋の火災予防運動

10日（金） 高吾地区音楽発表会

11日（土） 環境デイ

12日（日） 日曜健診

14日（火） 小児健診

15日（水） 行政相談

20日（月） 梶原町交通安全の日

24日（金） 梶原高校文化祭（校内発表）

25日（土） 梶原高校文化祭（一般公開）／芸術祭ステージ



全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く発信するとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて漁業の振興と発展を図ることを目的として、毎年各地で開催されています。

大会開催1年前を記念してプレイベントを開催！

1年前プレイベントin宇佐しおかぜ公園

【日時】11月11日(土) 10時～16時

【場所】土佐市宇佐しおかぜ公園



漁船パレード、稚魚の放流

地元のおいしいものコーナー



※当日、シャトルバスを30分おきに運航させます。
臨時駐車場：土佐市新居（新居緑地公園の隣）約90台

土佐の豊穰祭2017・豊かな海づくりフェスタ

【日時】11月11日(土)・12日(日) 10時～21時

【場所】高知市中央公園

土佐の豊穰祭高知市会場で、
豊かな海づくりフェスタを同時開催

体験コーナー

ステージショー



※写真：福岡県大会

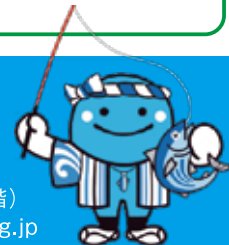
facebook

イベント情報や県内各地の豊かな森・川・海の情報を更新中！
「高知県の豊かな海」で検索！
いいね！や「シェア」をお願いします！



第38回 全国豊かな海づくり大会 高知県実行委員会事務局

高知県水産政策課 豊かな海づくり大会推進室内
〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号(西庁舎6階)
☎088-821-4690 E-mail 38umidukuri@ken.pref.kochi.lg.jp



11月の保健福祉支援センター行事予定

- | | |
|---|---|
| 1日(水) 松原サテライト | 17日(金) 東区いきいき |
| 6日(月) げらげら家族会 | 18日(土) 越知面区健康づくり発信事業 |
| 9日(木) 越知面デイ友の会
四万川宅老所
インフルエンザ予防接種(子ども優先日) | 19日(日) 松原区健康づくり発信事業 |
| 11日(土) 初瀬いきいき合同健康づくり発信事業 | 21日(火) 献血
インフルエンザ予防接種(四万川診療所) |
| 12日(日) 日曜健診(役場庁舎) | 22日(水) 西区いきいき(下西の川) |
| 14日(火) 小児健診 | 27日(月) インフルエンザ予防接種(松原診療所) |
| 15日(水) あゆみの会 | 29日(水) 西区いきいき(上松) |
| 16日(木) インフルエンザ予防接種
(高齢者優先日) | 30日(木) インフルエンザ予防接種
(高齢者優先日)
四万川いきいき |

○毎週水曜日…予防接種(四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

○毎週水曜日…育児サークル(支援センター4F講義室)

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お母さんだけでもOK。是非参加してください。お待ちしております。

○月曜日～金曜日…子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※育児や子育てなど、相談がありましたら気軽においでください。(TELでも構いません。☎65-1170までお願いします)

○川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…21日(火)、23日(木) ※月2回になりました。

※相談希望の方は、健康増進係または子育て世代包括支援センター(☎65-1170)までお願いします。

○ゆすっ子相談センター相談日…7日(火)午後、21日(火)終日、28日(火)午後

高幡ブロック精神障害者

家族会研修会の開催について

地域でつながる「わ」

「わ」のつながりから始める

高幡ブロック家族会では毎年テーマを決めて研修会を行っており、今年度は梶原町で開催します。「地域でつながる《わ》」〜できることから始めよう〜をテーマに、家族や地域のつながりを深め、地域支援の《わ》を広げていけるような研修会を開催したいと思えます。研修会に参加を希望される方は10月26日までに保健福祉支援センター健康増進係までお知らせください。

日時

11月8日(水) 10時〜15時(予定)

場所

ゆすはら・夢・未来館

内容

〈午前〉

当事者、地域での

支援者による発表

〈午後〉

トイピアノ演奏&おしゃべり

〜家族のお話も交えて〜

講演及び演奏

畑 奉枝 (sound office 音楽舎)

各事業所の販売もあります。

【問合せ】

保健福祉支援センター健康増進係

☎0889-65-1170

松原区からのお知らせ

松原小学校閉校記念誌「花ようらん」を発刊しました。

内容は卒業生名簿だけでなく、松原区の史跡や文化財、昔の暮らしの中で利用された民具などの紹介や、特に戦争後の混乱期、貧困の時代をたくましく、明るく育て来た当時の小学生の日常や体験など、今の時代に語り継いで行かなければならない大切な互助、共助、人を思い遣る心、など現在うすれて来ているものを見直す機会にもなります。

また地域で行われていた芸能や、生き物等も記録された冊子に仕上がっております。

取扱いは「あいの里まつばら」(松原)で行っております。

【問合せ】

あいの里まつばら

☎0889-66-0044

【その他連絡問合せ】

☎0889-66-0313(久岡)

☎0889-66-0255(吉村)

☎0889-66-0225(松山)

最低賃金改正のお知らせ

平成29年10月13日から、高知県最低賃金は**1時間 737円**です。

【問合せ】

労働基準局賃金室

☎088-885-6024

須崎労働基準監督署

☎0889-42-1866

職場のトラブル

解決サポートします！

人事労務管理の個別化や雇用形態の変化などに伴い、個々の労働者と事業主との間で、労働関係についての紛争が増加しています。高知労働局では、こうした個別労働紛争に対する援助サービスを提供し、解決に向けたお手伝いをしています。職場のトラブルでお困りの方は「総合労働相談コーナー」をご利用ください。

【問合せ】

高知労働局

総合労働相談コーナー

☎088-885-6027

須崎総合労働相談コーナー

(須崎労働基準監督署内)

☎0889-42-866

献血運動推進事業で

(株)南国ミロク梶原工場に

高知県知事より感謝状贈呈

献血は、健康な血液を患者さんに提供することです。昨今、全国的にも高知県下においても、少子高齢化が進み、若年層や献血可能人口の減少により献血者数が年々減少する中、梶原町は、献血の供給率は県下でもトップであり、献血に対しての町民の皆様の意識の高さが伺えます。

このような状況の中、平成29年8月23日(水)高知県庁本庁舎にて、(株)南国ミロク梶原工場が、日ごろの献血運動への多大な尽力に対し、高知県知事感謝状が贈呈されました。



(株)南国ミロク梶原工場 管理部係長 二宮勇大氏

(株) 南国ミロク 梶原工場では

昭和59年8月から、30年以上の長きにわたり、社員の皆様への献血協力の広報活動に取り組んで来られ、社員の方々も、会社と一丸となり、献血実施に協力され、高い献血実施率を評価されたことから、今回の贈呈となりました。

梶原町での献血は今年度、あと2回を予定していますので、皆様のご協力をお願い致します。

献血実施予定

〈役場庁舎〉

11月21日(火) 9時～13時

〈南国ミロク 梶原工場〉

11月21日(火) 14時半～16時

〈役場庁舎〉

3月20日(火) 9時～13時

〈特別養護老人ホームふじの家〉

3月20日(火) 14時半～16時

【問合せ】

保健福祉支援センター 健康増進係

☎0889-6511170

「雲の上のプール」の休業についてのお知らせ

雲の上のプールは設備の故障のため、休業いたします。復旧時期は未定です。利用者の方には大変ご迷惑をおかけいたしますがよろ

しくお願い致します。

【問合せ】

梶原町商工振興協同組合

☎0889-6510489

日曜健診のお知らせと

特定健診受診のお願い

今年も日曜健診を次のとおり実施します。現在まで都合により健診を受診できなかった方は、この機会にぜひ受診してください。

日時

11月12日(日)

受付8時半～10時

場所

梶原町役場

健診内容

結核・肺がん、胃がん、大腸がん検診及び健康診査です。

特定健診受診のお願い

特定健診につきましては、日曜健診の他に県内の医療機関等で受けることができますので、まだの方は受診いただきますようお願いいたします。

国保の方で特定健診を受けるために必要なもの

① 特定健康診査受診券 (紫色の用紙)

② 問診票 (白色の用紙)

③ 国民健康保険証



日曜健診の様子

④ 健診料金等 (特定健診料金は、日曜健診または梶原病院及び松原診療所での受診は無料です。クリニック等で受診される方は受診券に記載されている料金が必要です。受診される方は予約が必要になります。

○ 梶原病院及び松原診療所では、月曜日から金曜日まで特定健診を実施しています。受診券は直接健康増進係から医療機関へ送付します。(予約制になっていきますので電話等で予約をしてから受診してください。)

○ 町外の医療機関で受診される方は受診券をご本人に送付します

ので、健康増進係にご連絡ください。

【問合せ】

保健福祉支援センター

健康増進係 ☎6511170

「地域安全推進員」のご紹介

各地区の敬老会で自主防犯を呼びかける広報活動や、住宅訪問活動等の地域安全活動を行っています。住民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

〔四方川区〕 中岡 俊輔

〔東区〕 高橋 準一 中越 康文

〔西区〕 山本 浩辰 戸田 義廣

〔初瀬区〕 高橋登志子 宮本千恵子

〔松原区〕 松山 虎光 川田 早苗

【問合せ】

須崎警察署内

須崎地区地域安全協会

☎0889-4210700

租税債権管理機構からのお知らせ

公売とは

「公売」とは、滞納税に充てるために差押えをした財産を売却することです。具体的には、公売会場において見積価額以上の金額を入札していただき、最

高価額の入札者に売却していくもので、裁判所の行っている競売に類したものです。

機構の方針

行政サービスを支える財源の確保に向けて、差押えした財産は、随時、公売を行って税金に充てています。滞納の解消、税金確保のために多くの皆さんの参加をお待ちしています。

合同公売会

日時

11月16日(木)

開場 13時30分

入札 14時

会場

須崎市総合保健福祉センター

2F会議室

(須崎市山手町1番7号)

※今回は、高幡租税債権管理機構と佐川町と四万十町の合同公売会の形式で、宅地や雑種地などを売却します。公売物件の所在地は土佐市、津野町、佐川町、四万十町になります。

入札に必要なもの

《全員》保証金(見積価額の約10%)、運転免許証など身分を証するもの、印鑑(認印)
《代理人》委任状

その他

保証金納付期限

11月16日(木) 14時

保証金は見積価額の約10%と定められています。

買受代金納付期限

11月23日(木) 14時

買受代金は落札額から保証金を控除した金額です。

所有権移転登記

費用負担と住民票等の提出を条件として、執行機関が代行することができません。

※公売や物件の詳細は、高幡租税債権管理機構のホームページをご覧ください。左記連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】

高幡租税債権管理機構

住所 須崎市山手町1-7

☎0889-4010911

佐川町役場収納管理課

住所 佐川町甲1650-2

☎0889-2217703

四万十町役場税務課

住所 四万十町琴平町16-17

☎0880-2213116

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

ふるさとづくり寄付金として

- 西山 武志様 (東京都昭島市)
- 板東 宏様 (大阪府豊中市)
- 中宇祐裕也様 (埼玉県上尾市)
- 篠藤 利雄様 (兵庫県伊丹市)

広報へのご寄付

- 上田 因様 (大阪府大阪市)
- 中岡 利徳様 (東京都町田市)

その他のご寄付

- 長山 亀一郎様 (東川)
 - 故・長山福儀氏逝去に伴う香典
- 返しとして社会福祉へ
- 神明 貞男様 (東川)
 - 故・神明さちゑ氏逝去に伴う香典
- 典返しとして社会福祉へ
- 西村登喜枝様 (後別当)
 - 故・西村善藏氏逝去に伴う香典
- 返しとして社会福祉へ
- 松田 淑夫様 (上西の川)
 - 故・松田峰子氏逝去に伴う香典
- 返しとして社会福祉へ

編集後記

10月に入り朝晩はめっきり涼しくなり、日中は日差しが暖かく感じる秋らしい季節になりました。秋と言えば食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、他にもいろいろありますが、梶原町でもグルメまつり、龍馬脱藩マラソン、芸術祭と、まさに秋にふさわしいイベントが目白押しでしたね。グルメまつりや脱藩マラソンでは、たくさんの方外または県外の方に梶原町を訪れていただき、町内も大変活気に満ちていました。

私もグルメまつりではスタッフで参加させてもらいましたが、帰りのお客様から「とても楽しかったです。」「毎年来てます。」という声や、また、今から帰られるにもかかわらず「パンフレットをもっと1部ください。帰って宣伝します。」という言葉を頂いてとても嬉しい気持ちになりました。

こうしたイベントは地元住民の皆さんの協力なしには開催できません。地元住民の1人ひとりの心のもったおもてなしの気持ちの表れが、こういった集客に繋がっていることを実感しました。来町される方々に「また来たい。」と思ってもらえる町づくりを続けていきたいですね。

〈広報編集委員会〉

文芸



えぼし俳句会

昨夜父になりし青年涼新た 西村 智子
 鈴虫の幼き声を聞く夜かな 温地あゆみ
 葛咲くや萱場に錆びてゆく滑車 千光寺昭子
 信号は青ばかりなり葛の山 岩元 美美
 星月夜旅の半ばの里ごころ 古野 節子
 廃屋を隠す葛の葉こぬか雨 下村 弘花
 竹垣の日ごと影濃し秋の声 下元 澄子
 寝転べば吾も石ころ秋の雲 ヒネ・バンビ
 心地よきミシンのリズム星月夜 宮崎真由子
 庭下駄の音なつかしき星月夜 宇都宮由利子
 秋耕や亡母の握りし鎌の錆 中越 律子
 初恋は色なき風に似たりけり 瀬戸口登貴恵
 沿道の樹々を覆ひぬ大葛葉 岩井 章子

杉の子俳句会

明け放つハウスの窓やうろこ雲 西村 幸枝
 糸瓜忌の鉄橋渡るスマートホン 掛橋 初子
 寛水手に受けて知る初秋かな 影浦 鉄心
 長ナスの地面にとどく雨上り 西村 蓉子
 鎌に秋の始まる構えかな 野中 胤雄
 初秋や七子峠のラーメン屋 下元 廣幸
 初秋のポットの中に種二つ 明神伊佐子
 秋草のからみ動かぬ草刈機 氏原 陽子
 引く波に騒ぐ荒砂秋初め 内野 純子
 ススキ原スポーツカーの真っ赤っか 川田 早苗
 十六夜のほのかに温し石地蔵 大崎みなと
 ネットクレス選ぶ朝や敬老日 久岡 智子

杉の子俳句会

ペチュニアの花細りゆく夏の果て 広瀬 みえ
 人知れず社焼け落つ秋の朝 西村由利子
 豊作やかぼちゃのレシビ尽きたかな 西森 誠子

テレビからしばし離れて秋を詠む 中平 忠雄

背の籠に自然薯揺れて里の暮 中越 郁子

針のごと二の腕残暑ジリジリと 中越 緑

爽籟や白組の騎馬崩れ落つ 渡辺 瑞枝

自然薯の天麩羅作る夕餉かな 中越 秋子

台風が明日来ると杭深々と 吉田 敬子

台風を肴に午後の古屋かな 広瀬 卓雄

川柳

店じまいしたが在庫は水浸し

鳴かざれば脅してみるかホトトギス

身体を焼いた真実の理由が解かりかけ

狂歌

人災に夢散らされし若者に

“梶原人”よ何と答える

不祥事の過半の責は女房役
 現状みれば手握られても
 ゆす原人々

●おめでた

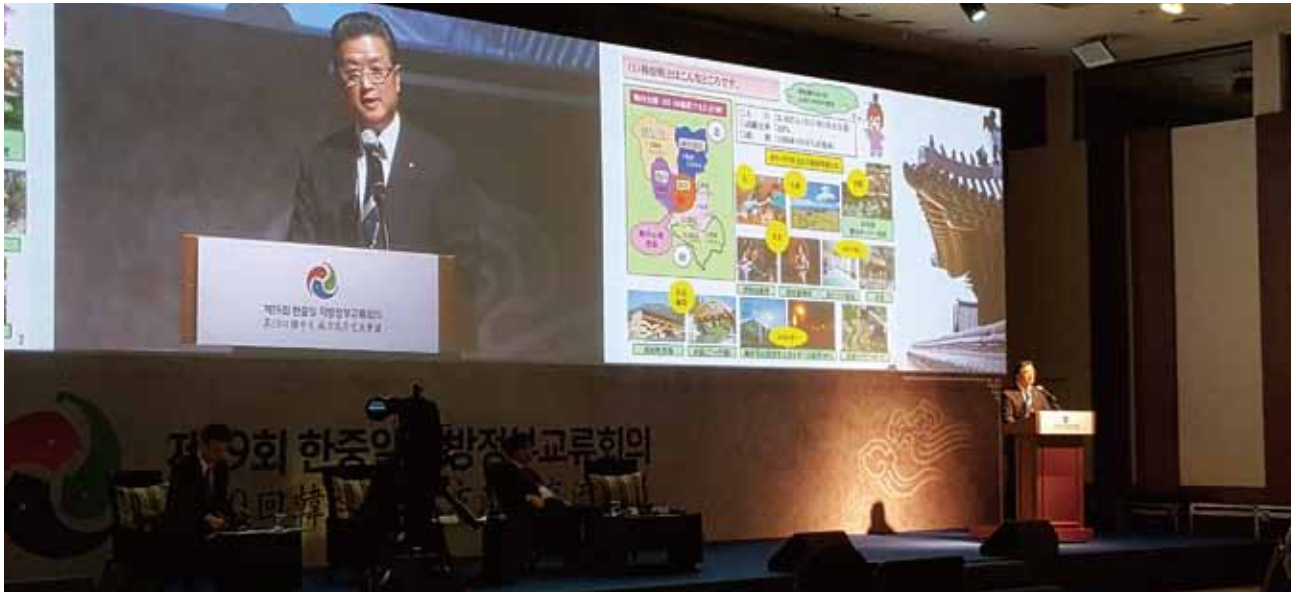
住所	氏名	性別	出生年月日	保護者
川西路	小野川 悠月 <small>ゆづき</small>	男	H29.8.30	小野川良
川西路	那須 朋佳 <small>ともか</small>	女	H29.9.8	那須孝幸

●おくやみ

住所	氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
後別当	西村 善藏	男	H29.9.5	88	本人
南町	竹崎アユミ	女	H29.9.6	73	竹崎清春
中平	那須 辰美	女	H29.9.8	94	本人
広野	川尻 慎一	男	H29.9.10	66	本人
六丁	吉岡 幹夫	男	H29.9.26	65	本人

※出生・死亡・婚姻については個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

矢野町長 第19回日中韓3カ国 地方政府交流会議へ出席



各国の参加者を前に町の取り組みを発表する矢野町長

8月28日(月)から9月1日(金)にかけて韓国蔚山(ウルサン)広域市で開催された第19回日中韓3カ国地方政府交流会議に出席するため、日本の自治体代表(町村長としては唯一)として、矢野町長が訪韓しました。これは総務省と一般財団法人自治体国際化協会からご指名をいただいたことにより実現したものです。

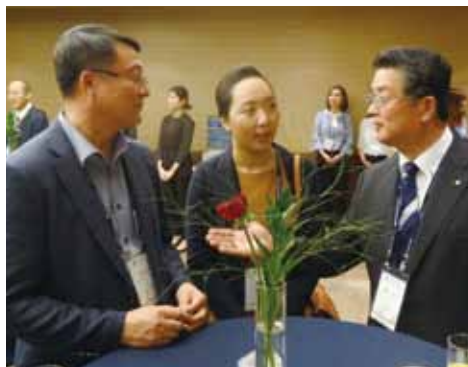
会議は各国の地方政府、自治体の首脳をはじめとして480人が参加するという大規模なもので、まず主旨講演「新しいパラダイム提示(発想の転換)を通じた東北アジア地方政府発展施策の模索」と題して、日本からは新潟市長の篠田昭氏が講演され、続く3部構成のパネルディスカッションでは「産業と観光をつなげた観光融合・複合の提案」、「エコシティ環境づくりと持続可能な発展施策の模索」のテーマのもと、それぞれ愛知県振興部観光局長の加納國雄氏と北九州市副市長の松元照仁氏が発表を行いました。

矢野町長は、「少子高齢化の深化にともなう地方自治体の政策的努力」のテーマにおいて「少子高齢化に立ち向かう栲原町の生きた仕組みづくり」と題し、集落活動センター事業を通じた町民の皆さんの取り組みなどについて紹介し、会議を締めくくるといふ大役を果たされました。今回の交流会議に本町は唯一の小規模自治体として参加しましたが、本町の取り組みは駐日本国大韓民国大使館参事を始めとして多くの要人の皆様から高い

評価をいただくとともに、矢野町長の発表後には会場全体から自ずと拍手が沸き起こるなど、町民の皆様と取り組んできた町づくりは世界にも通用するものであると感じることができました。ここに感謝申し上げますとともに、町では今後も取り組みを推進してまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



同時通訳のもと真剣に聞き入る参加者



通訳の方を介して各国首脳と交流を深める